

11月27日(木) 記号

今、2年生はかけ算の勉強を一生懸命しています。九九を覚えるのもたいへんですが、日本人のほとんどの人は、2年生の時に九九を覚えて、大人になっています。



さて、かけ算の記号「×」は、どうやって作られたのでしょうか。これは、イギリスのオートレッドという人が、「かけ算を美しくするためにには『×』または『in』を使う」と書いたのが始まりだそうです。十字架の記号を斜めにしたものだと、いわれています。その後、ドイツのライプニッツという人は、Xと間違いやさしいので『・』を使うようにしました。この「・」は、今でも使われています。

では、たし算の「+」やひき算の「-」は、どのようにしてできたのでしょうか。まず、「-」ですが、これは船に乗って旅に出る人が作りました。海の上でとっても大事な水をたるに入れて旅に出たのです。大事な大事な水を使ったら、「-」と、たるに線をひいたのだそうです。それがひき算の記号の始まりです。+と÷についても、調べてみて下さい。

村越 新